

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成21年12月24日(2009.12.24)

【公開番号】特開2007-328060(P2007-328060A)

【公開日】平成19年12月20日(2007.12.20)

【年通号数】公開・登録公報2007-049

【出願番号】特願2006-157873(P2006-157873)

【国際特許分類】

G 0 3 F 7/039 (2006.01)

H 0 1 L 21/027 (2006.01)

C 0 8 F 212/14 (2006.01)

C 0 8 F 220/38 (2006.01)

C 0 8 F 220/58 (2006.01)

【F I】

G 0 3 F 7/039 5 0 1

H 0 1 L 21/30 5 0 2 R

C 0 8 F 212/14

C 0 8 F 220/38

C 0 8 F 220/58

【手続補正書】

【提出日】平成21年11月5日(2009.11.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 7 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 7 9】

また、上記界面活性剤の配合量は、感放射線性樹脂組成物における酸発生基含有樹脂 1 0 0 質量部に対して、2 質量部以下であることが好ましい。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 8 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 8 0】

〔増感剤〕

上記増感剤の好ましい例としては、例えば、カルバゾール類、ベンゾフェノン類、ローズベンガル類、アントラセン類等が挙げられる。尚、これらの増感剤は、単独で又は2 種以上を混合して使用することができる。

また、上記増感剤の配合量は、感放射線性樹脂組成物における酸発生基含有樹脂 1 0 0 質量部に対して、5 0 質量部以下であることが好ましい。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

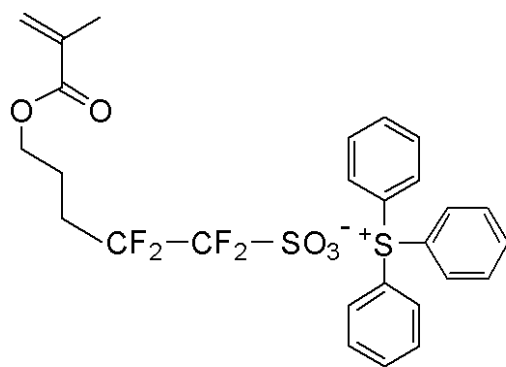
【補正対象項目名】0 0 9 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 9 0】

【化 3 9】



(Z-3)